

中学校の国語科の先生方へ



今年の高校入試を分析したら、こんなことが分かりました！

合格者の国語の平均点は、55.2点

☆正答率が高かった問題は、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」です。特に「文語のきまり」「漢字の読み書き」「行書の書き方」の問題では、基礎的・基本的な言語事項の定着が図られています！



正答率^(※)の低かった問題を見てみましょう！

<一 文学的な文章>では…

- 登場人物の言動の意味を考え、内容の理解に役立てる問題（問五）が、26.8%
- 文章の表現の仕方について評価する問題（問六）が、46.3%
→ 登場人物の言動の意味を考える力や表現の仕方を評価する力が不足

登場人物の心情の変化を読み取るだけでなく、登場人物の言動を話の展開や作品全体に表れたものの見方とのかかわりから考える活動を取り入れましょう！

<二 説明的な文章>では…

- 文章の構成や展開、表現の仕方について評価する問題（問六）が、36.9%
- 抽象的な概念を表す語句に注意して読む問題（問二）が、46.0%
→ 文章の構成や展開を評価する力や抽象的・概念的な表現を理解する力が不足

段落ごとの内容を把握するだけでなく、段落相互の関係を読み取り、筆者の思考の流れに沿って、文章全体の論理構造をとらえる活動を取り入れましょう！

<三 言語活動>では…

- 事柄や意見が相手に効果的に伝わるように説明や具体例を加えて文章を書く問題（問五）が、35.1%
- 論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして説得力のある文章を書く問題（問三の1）が、38.4%
→ 効果的な具体例を加えてまとめる力や資料を適切に引用する力が不足

単に自分の意見や考えをまとめるだけでなく、課題解決のプロセスで、複数の資料を正確に読み取り、関連づけて、根拠を明確にしながら自分がどう考えるかを表現する活動を取り入れましょう！

<四 古典>では…

- 登場人物の思いなどを想像する力をみる問題（問三）が、45.2%
- 歴史的背景などを踏まえつつ、古典の世界に親しむ力をみる問題（問五の1、2）が、60.8%、48.6%
→ 登場人物の思いを想像する力や、古典の世界に親しむ力が不足

古典を読むための知識や技能の定着を図るだけでなく、作品の背景にある歴史的な状況を踏まえた上で読む活動を取り入れましょう！また、今と昔の生活様式や文化の違い、共通点に気付いたり、古典の現代語訳や関連する本や文章、音声や映像メディア等を用いたりして、古典の世界に親しみがもてるような工夫をしましょう！



「分かる！・できる！」まで教えよう！（授業改善のkeyword）
各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！
詳しい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！

(※)正答率については、合格者4,812人の中から、無作為に抽出した640人(13.3%)分のデータです。

小問ごとの内容及びねらい

大問	小問	内容	出題のねらい	出題形式			評価の観点				正答率	
				選択	短答	記述	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解		
一	一	文学的な文章	文脈に即して漢字を正しく読み書きすることができる。		○					●	Ⓐ94.8 Ⓑ84.1 Ⓒ90.8	
	二		文脈の中における語句の意味を的確にとらえ理解することができる。	○					●	●	48.3	
	三		登場人物の描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる。	○						●		74.1
	四		登場人物の言動の意味を考え、内容の理解に役立てることができる。	○						●		68.2
	五		登場人物の言動の意味を考え、内容の理解に役立てることができる。			○				●		26.8
	六		文章の構成や展開、表現の仕方について評価することができる。	○						●		46.3
二	一	説明的な文章	文脈に即して漢字を正しく読み書きすることができる。		○					●	Ⓐ99.0 Ⓑ60.0 Ⓒ74.7	
	二		抽象的な概念を表す語句に注意して読むことができる。	○					●		46.0	
	三		文章の論理の展開の仕方をとらえ、内容の理解に役立てることができる。	○						●		77.9
	四		文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、要旨をとらえることができる。			○				●		A 64.2 B 50.1
	五		筆者のものの見方や考え方に、知識や経験と関連付けて自分の考えをもつことができる。	○						●		52.4
	六		文章の構成や展開、表現の仕方について評価することができる。	○						●		36.9
三	一	言語活動	漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くことができる。		○					●	79.5	
	二		話し合いが効果的に展開するように進行の工夫を工夫することができる。	○			●				56.4	
	三		論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くことができる。			○		●			1 38.4 2 42.0	
	四		共通語と方言の果たす役割について理解することができる。			○		●			3 49.1 4 46.2	
	五		事柄や意見が相手に効果的に伝わるように説明や具体例を加えて書くことができる。			○		●			5 35.1	
四	一	古典	文語のきまりを知り、古典の世界に触れることができる。		○					●	94.8	
	二		文の成分の照応、文の構造について考えることができる。	○						●	83.8	
	三		古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いなどを想像することができる。	○						●	45.2	
	四		訓読の仕方を知り、古典の世界に触れることができる。		○					●	80.8	
	五		歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しむことができる。		○					●	1 60.8 2 48.6	
	六		慣用句などに関する知識を広げ、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	○						●	54.8	